

151012 包装タイムス (一面)

丸東産業

レトルト対応の液体高速充填包材

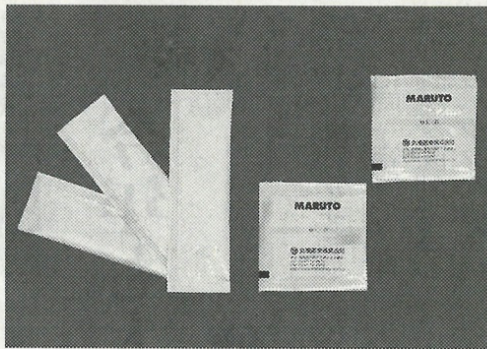
個食化、使い切り要求に応え

丸東産業(福岡県小郡市、☎0942・73・3626)はこの

ほど、液体高速充填用フィルム「マルトップML」シリーズを拡充し、小サイズのピロー包装に対応しレトルト殺菌を可能にした新グレード「ML-R」を開発しシリーズに加えた。「個食化」や「使い切り」といった時代ニーズに機能訴求を図

り需要の取り込みに力を注ぐ考えだ。

レトルト食品市場は、鍋スープに代表されるように内容量の小さな包装形態が増加している。高齢化社会や共働き世代の増加で「個食化」や「使い切り」をキーワードとする包装容量の減量化ニーズが強く、セーブ・フード(食料廃棄の低減)意識の高まりから



新グレード「ML-R」を拡販へ

れ高速充填性に適したフィルムを提案。ラーメンスープ、めんつゆ、しょうゆ、保冷剤など幅広い用途で採用を伸ばしてきた。

レトルト食品の重要性を認識する声も聞かれる。同社はこれまで、「マルトップML」シリーズとして低温シール性とホットタック性に優

る。レトルト食品の重要性を認識する声も聞かれる。同社はこれまで、「マルトップML」シリーズとして低温シール性とホットタック性に優

容量(小サイズ化)を可能にした点だ。ピロー包装方式は内容物が袋一杯に入るため給袋方式に比べ必要となる袋容積は小さくて済むが、ピロー包装時のシール性や充填速度向上などが課題とされていた。

「ML-R」を製品化した。最大の特徴は、レトルト食品を縦ピロー包装にすることで、容量に対する包材の減

ト殺菌に耐性がある高速充填性のあるフィルムとして仕上がっている。社内で実施した比較検証でも縦ピロー機充填速度では150%、給袋式充填との対比では120~150%向上したとしている。要望によりノンパウダー仕様での製品化も可能。「内容物へのコンタミネーション防止や工程ライン清掃時間の削減などが期待できる」として10月に東京で開催される「JAPAN PACK 2015」に出展し来場者に製品提案しながら、レトルト食品業界を中心に拡販活動に力を注ぐ考えだ。

同社では、特殊シールントを使用することで課題を解決。包材の減容化によるコスト低減などが期待される。また、優れた夾雑物シール性、耐熱性、耐圧強度を有し、レトル

同社では、特殊シールントを使用することで課題を解決。包材の減容化によるコスト低減などが期待される。また、優れた夾雑物シール性、耐熱性、耐圧強度を有し、レトル